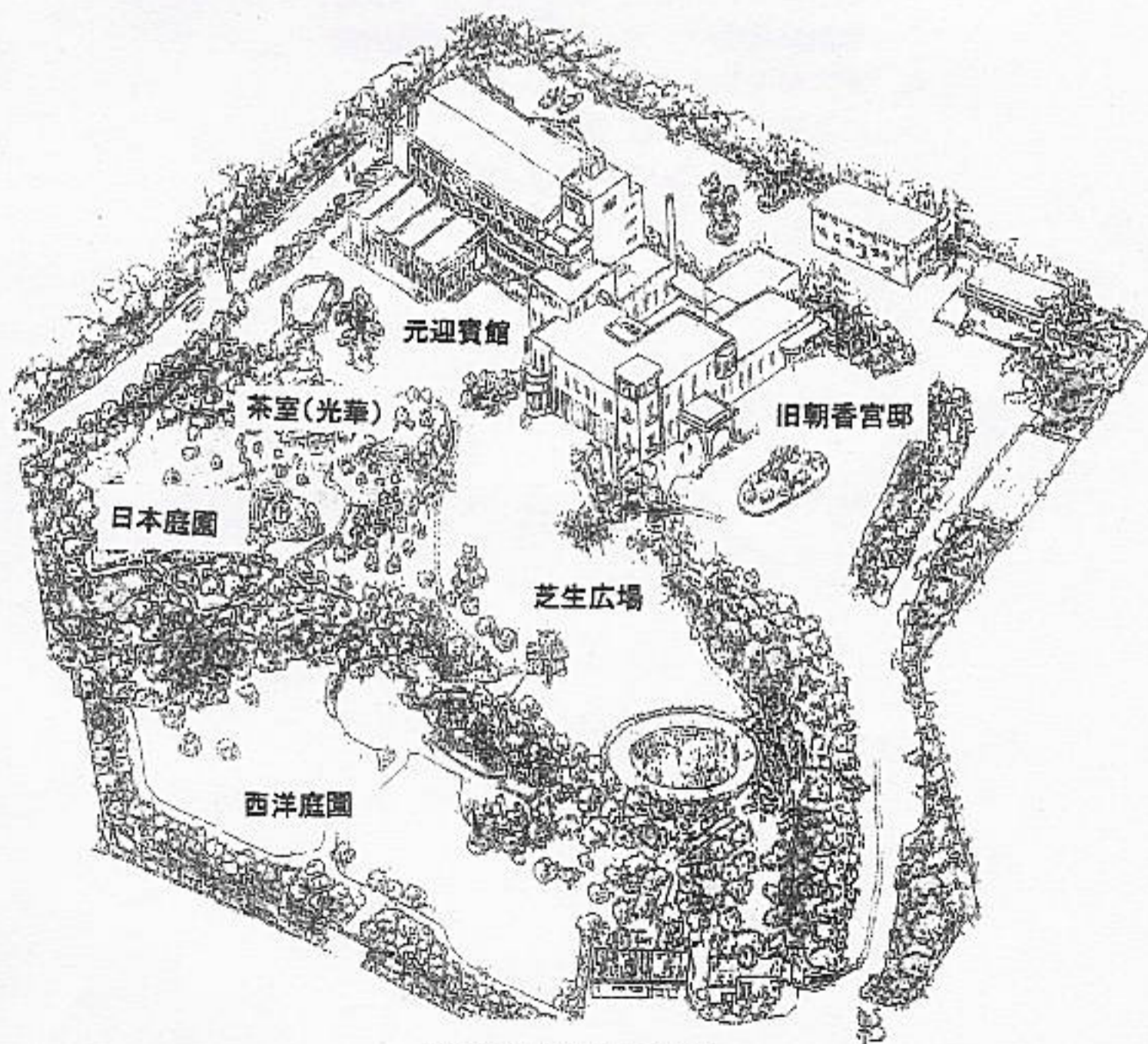


越谷市郷土研究会は設立45周年を迎えました

新緑の恵比寿・目黒を訪ねる

平成22年5月15日〈土〉・第403回史跡めぐり

NPO法人越谷市郷土研究会



東京都庭園美術館

第403回史跡めぐり・行程表

- 日時 平成22年5月15日(土) 雨天決行
 集合 午前9時30分 越谷駅東口
 9.37 越谷駅発(日比谷線)＝恵比寿駅
 10.50 (スカイ・ウォーク)恵比寿ガーデンプレイス
 11.00 ・エビスビール記念館(自由見学)
 12.00 ・昼食(展望レストラン38・39階・地下専門店)
 13.00 ・散策(恵比寿三越・アートワーク・公園)
 13.30 ・集合(タワー1階・直通エレベーター広場)
 14.00 ・東京都庭園美術館(旧朝香宮邸・ロシア展)
 15.00 ・自然教育園(史跡・天然記念物)
 16.00 白金台駅(南北線)＝永田町(半蔵門線)
 17.00 越谷駅着予定(歩行約5km)
 ご案内 常任理事 安西利夫



○ 恵比寿ガーデンプレイス

サッポロホールディングスグループが渋谷区恵比寿四丁目と目黒区三田一丁目で開催する不動産事業の総称である。また、地帯一帯の名称でもある。

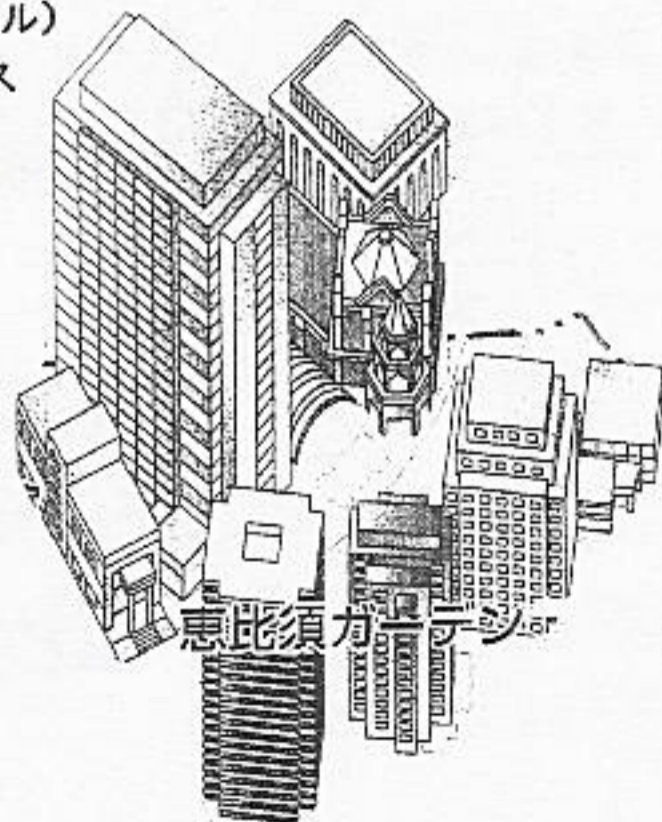
恵比寿駅から動く歩道「スカイウォーク」で直結され、ショッピング、オフィス、飲食店からマンションまでの機能を兼ね備えている。東京都における都市開発の代表的存在であり、国土交通省の都市景観100選を受賞している。

1887年に日本麦酒醸造が現在の目黒区から渋谷区にまたがる地帯に設立した工場で「エビスビール」を製造し始めた。日本鉄道がエビスビールの輸送用の駅「恵比寿駅」を設立し、その後「恵比寿」が町名となり、地名として定着した。

1988年、渋谷区近辺の都市化や郊外への工場移転が進んだことに伴い、この工場は閉鎖。1994年に「恵比寿ガーデンプレイス」が竣工した。

(主な施設)

- ・サッポロホールディング・サッポロビール本社
(エビスビール記念館)
- ・恵比寿三越
- ・ウエスティングホテル東京
- ・恵比寿ガーデンテラス武番館(賃貸マンション)
(恵比寿ガーデン・シネマ1・2)
- ・恵比寿ガーデンプレイスタワー (オフィスビル・高さ167m)
(ガラススクエア)三越が運営する専門店街
エスパシオ
(恵比寿ガーデンプレイス郵便局)
- ・ザ・ガーデンホール/ザ・ガーデンルーム(貸しホール)
- ・恵比寿ガーデンプレイス「広場」 屋外貸しスペース
- ・恵比寿ガーデンプレイス巻番館。分譲マンション
- ・恵比寿ピュウタワー(オフィスビル)
- ・東京都写真美術館

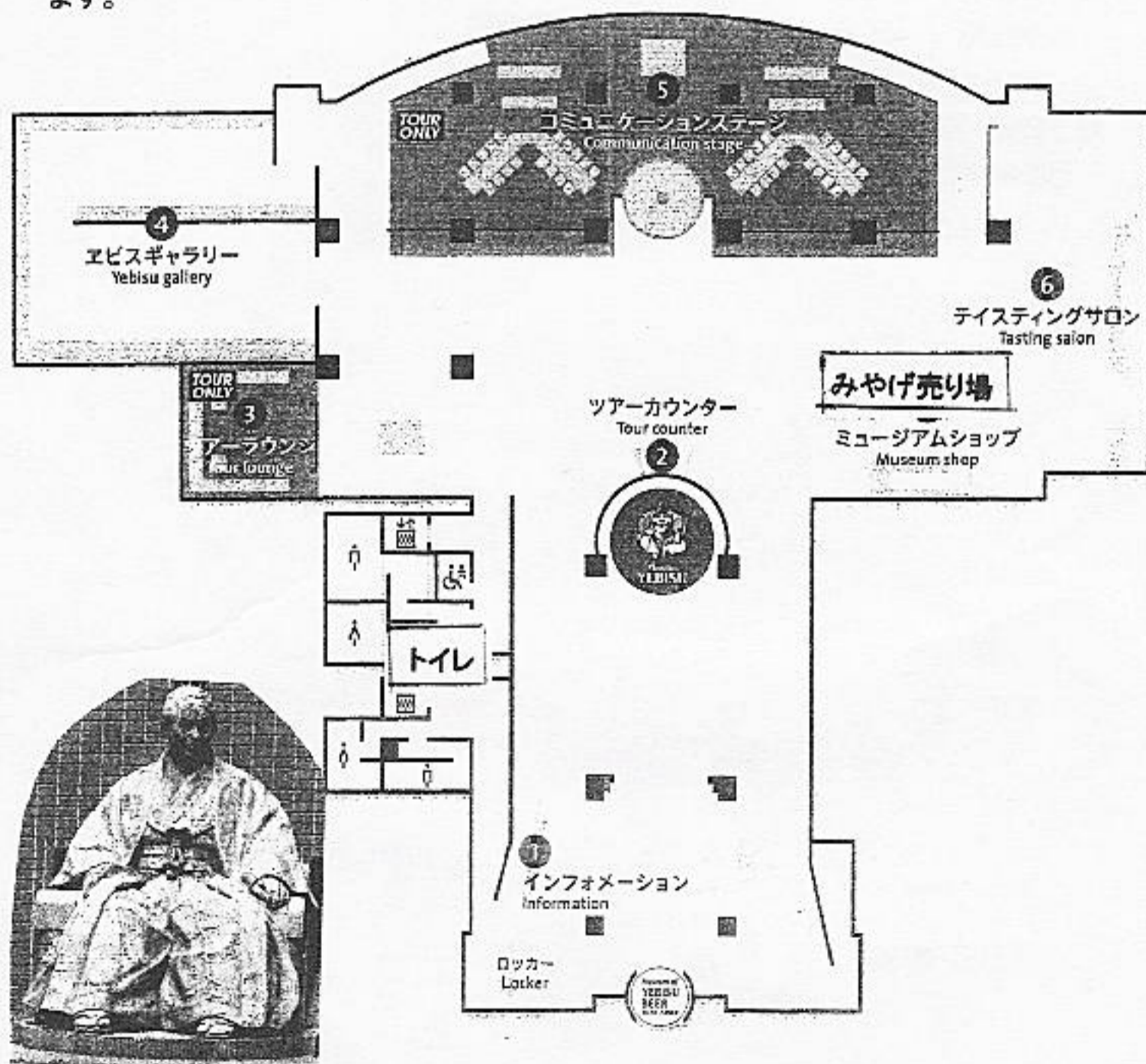


○エビスビール記念館

明治20年(1887)、畑や山林が広がり、民家もまばらなこの土地に、ドイツの製法にこだわった醸造会社が設立され、3年後にビールが誕生しました。

やがてビールの名前は、駅名となり、街の名前となりました。それが「エビスビール」です。時代を超えて生誕120年の節目に「エビスビール記念館」が恵比寿にオープンしました。

エビスビールの創始者「馬越恭平像」と「富国之巨人碑」が記念館入口の両端にあります。



馬越恭平像

富国之巨人碑

○ランチのご案内(12時より13時30分まで、ご自由にご選択ください)

- * 39階展望レストラン 5店舗あり, 店により展望方向が異なります。
東天紅 ヴィヴィ ラ・ベルデ 北海道 火の音水の音
・やきとり戎 (和食、丼物、すし) 900円~1000円
- * 38階展望レストラン 6店舗あり, 店により展望方向が異なります。
吉祥 叙々苑 千房 旭鮎 ろくまる五元豚
・きらら (バイキング1時間) 1350円
- * 地下1階プロムナード
海南鶏飯 音音 魚匠 チャイナ四合院
・マクドナルド セット 380円~
- * 地下2階レストラン街
とんかつ武蔵 銀座ライオン 鳥焼車屋
・満龍 (北海道ラーメン) 700円~



○ アートワーク(彫刻や記念碑)

噴水やベンチ、点在するアートワーク。街中が公園として楽しめます。

1. 握手する人(土谷武)
2. 永遠なる休息の精(ロダン)
3. 果実(プーデル)
4. クロワッサンが飛んでゆく(永原浄)
5. せんまんなゆた(熊井恭子)
6. あじさいの精、けしの精(一原有徳)
7. WINDOWS(白井美穂)
8. 馬越恭平・富国之巨人
9. カブト(工場エントツパーツ、大正3年ドイツより輸入)など合計16点



○落語「目黒のさんま」ゆかりの地 (目黒区三田2丁目-12~14)

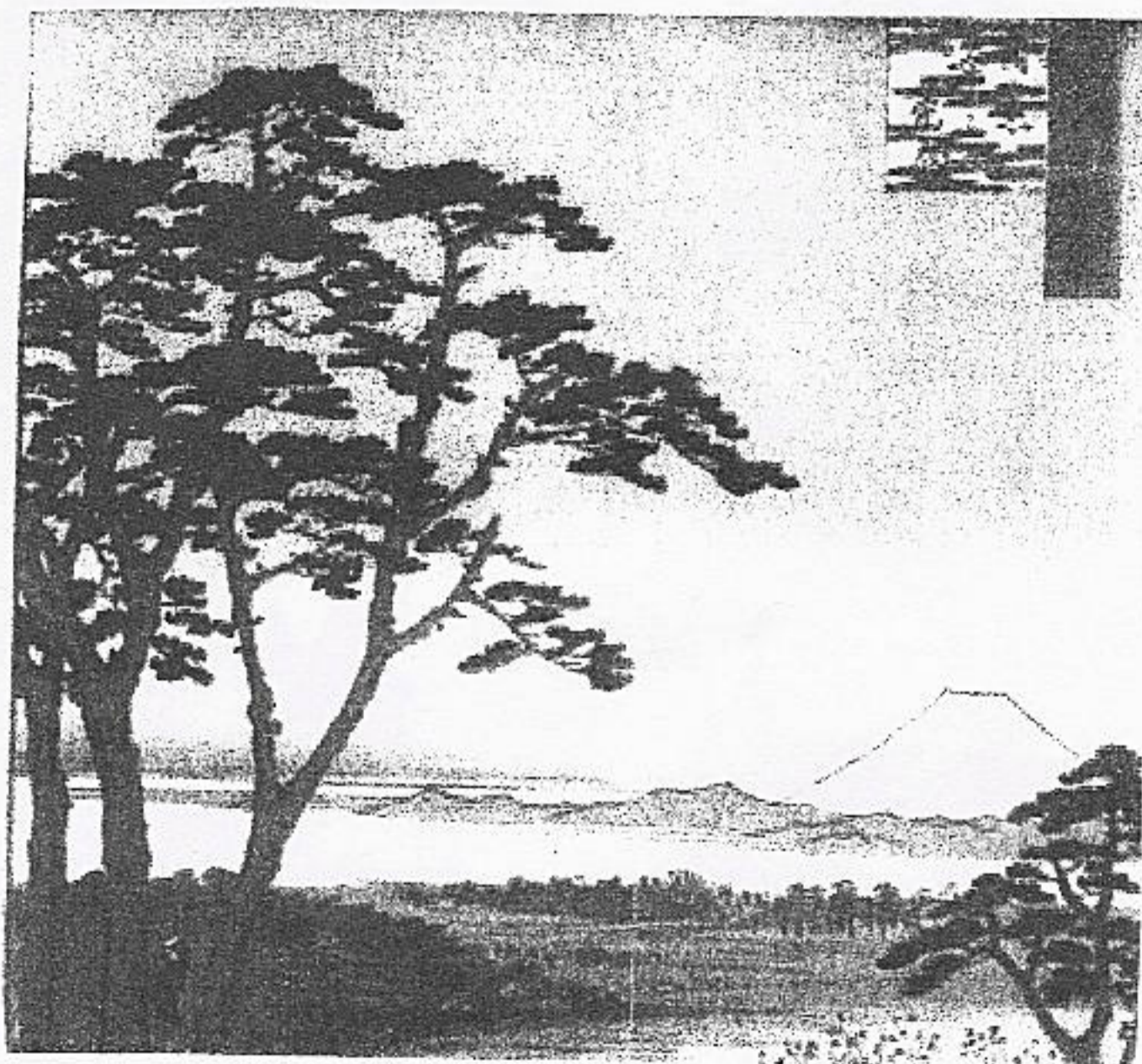
茶屋坂と爺々が茶屋

茶屋坂は江戸時代に、江戸から目黒に入る道の一つで、大きな松の生えた芝原の中をくねくねと下るつづら折の坂で富士の眺めの良いところであった。

この坂上に百姓彦四郎が開いた茶屋があって、3代将軍家光や8代将軍吉宗が鷹狩にきた都度立ち寄って休んだ。家光は彦四郎の人柄を愛し、「爺、爺」と話し掛けたので、「爺々が茶屋」と呼ばれ安藤広重の絵にも見えている。以来将軍が目黒筋へお成りの時は立ち寄って銀1枚を与えるのが例であったという。また10代将軍家治が立ち寄った時には団子と田楽を作って差し上げたりしている。

こんなことから「目黒のさんま」の話が生まれたのではないだろうか。

目黒区教育委員会

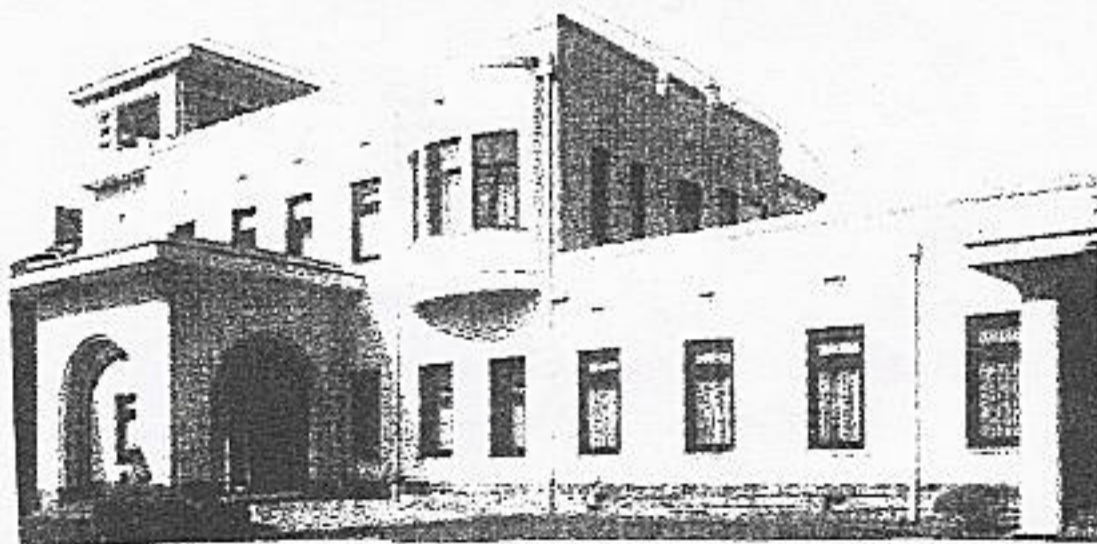


○東京都庭園美術館

- 沿革 この庭園美術館は旧朝香宮(朝香宮鳩彦王は久邇宮家第八王子、妃殿下は明治天皇第八皇女)邸を美術館として一般に公開しているものです。1933年建築のこの邸宅は鳩彦王が1947年の皇籍離脱まで暮らしたものです。その後、吉田茂によって外務大臣公邸(ただし外相は総理の吉田茂が兼務)として1950年まで使用された。以後30年間、国賓公賓の来日の際の迎賓館として使用され、1981年に東京都がこの館を買い取り、庭園美術館とした。
- 施設 本館は当時流行のアールデコ様式の粋を尽くした瀟洒な建物で、東京都の有形文化財に指定されている。建築設計は宮内省内匠寮、内装デザインはフランスのインテリアデザイナー「アンリ・ラバン」が担当。また正面玄関にある女神像のガラスレリーフや大広間などのシャンデリアはフランスの宝飾デザイナーでガラス工芸家でもあった「ルネ・ラリック」の作品である。一階には大広間、大客室、大食堂などの公的空間が主に配され、二階には寝室などの宮家の私室が並ぶ。建物全体の半分ほどが展示室として公開されている。
- 芝生広場 庭園入り口から広がり、彫刻作品が点在し、緑とともに芸術を楽しむ。椅子が置かれているので美術館を外側から眺められる。
- 日本庭園 池の周囲を歩ける回遊式庭園。池泉と枯淡の石組みや池畔の松など、小さな茶室「光華」とあわせ日本庭園の特徴が凝縮されている。
- 西洋庭園 桜に囲まれた芝生の庭。この桜は1912年に東京都がワシントンに寄贈した3000本の桜の苗木。

○企画展 ロシア構成主義のまなざし

本展ではアレクサンドル・ロトチェンコ(1891~1956)とワルワラ・ステパーノワ(1894~1958)の作品を絵画、グラフィック、空間構成、建築、デザイン、演劇、印刷物、写真の8つのジャンルにわたって紹介します。

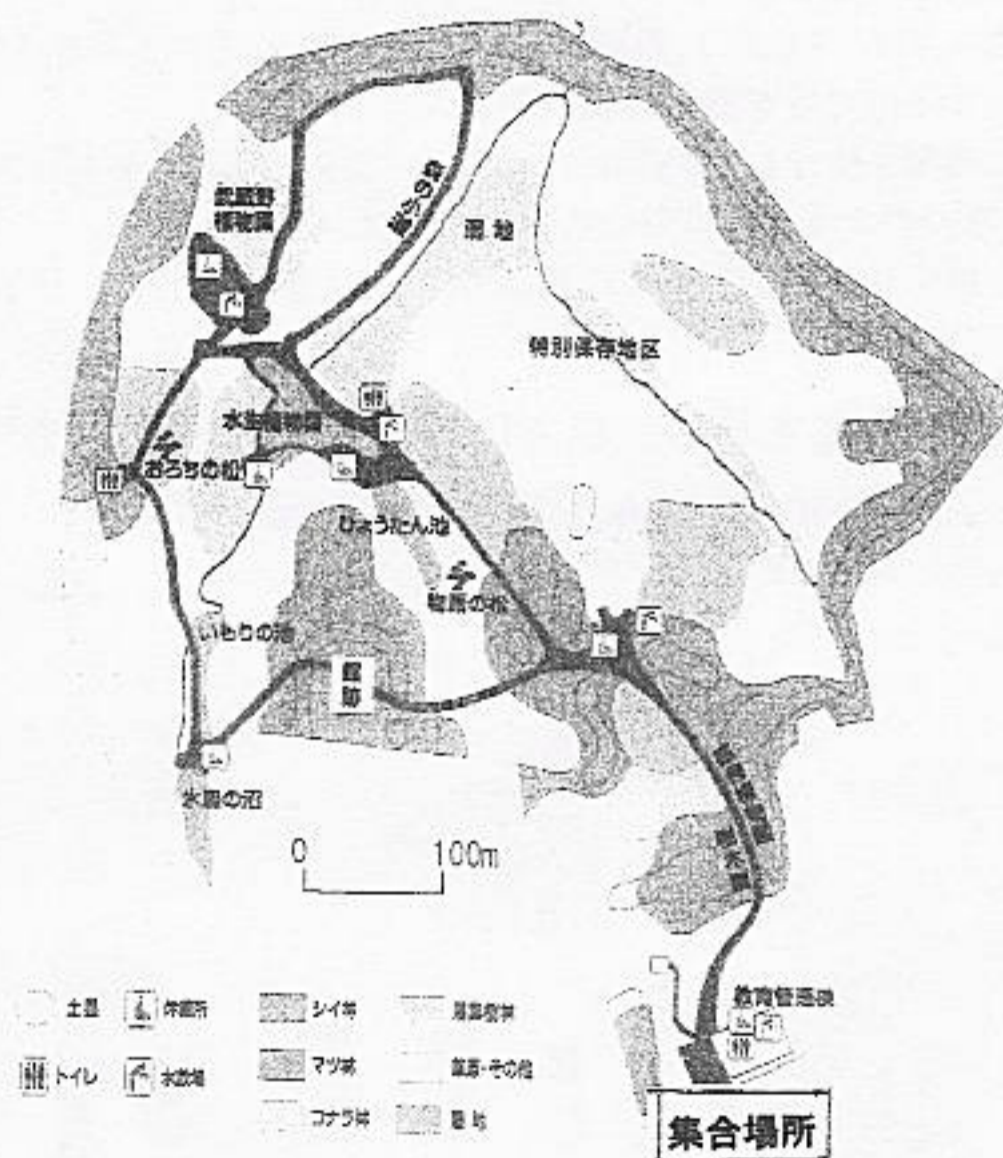


○自然教育園（国立科学博物館附属）

東京都内では自然の面影を残した数少ない森のある植物園である。元は400～500年前の中世の豪族の館から始まったとされ、江戸時代には高松藩主松平頼重の下屋敷、明治時代には陸海軍の火薬庫、大正時代には宮内庁の白金御料地と歴史を重ね、一般の人が中に入ることができなかつたために、まれに見る豊かな自然がここに残された。

1949年に全域が天然記念物および史跡に指定されると同時に、国立自然公園として一般公開されるようになり、その後1962年に国立科学博物館附属自然教育園となった。

一般的な植物園や庭園と違い、自然の移りゆくまま、できる限り本来の姿に近い状態で残そうという独得な考え方で運営されている。



参考資料

東京都の歴史散歩・中 都歴史教育研究会
東京庭園ガイド 東京都名園鑑賞会
江戸・東京歴史探訪ウォーキング メイツ出版
めぐろウォーキングマップ 目黒区教育委員会
東京都区分地図 目黒区・渋谷区 昭文社
自然教育園パンフレット 国立科学博物館
東京都庭園美術館パンフレット
恵比寿麦酒記念館 案内
フリー百科事典「ウィキペディア」